

令和元年度第1回「佐世保市行財政改革推進会議」

〔名簿・議事要旨〕

■日時：令和元年7月26日（金）10：30～12：10

■場所：佐世保市中央保健福祉センター（すこやかプラザ）6階 研修室1

■委員の出欠状況：出席者6名（欠席者1名）

[順不同・敬称略]

氏名	所属団体	氏名	所属団体
つな たつゆき 綱 辰幸	長崎県立大学 地域創造学部（学部長） 教授	かやはら ゆうこ 茅原 優子	宮地区自治協議会
おか みつまさ 岡 光正	佐世保商工会議所 議員	うちうみ りえこ 内海 梨恵子	一般公募
つるた たかあき 鶴田 貴明	公益財団法人 ながさき地域政策研究所 調査研究部長	たにがわ よしたか 谷川 善隆	一般公募

■事務局出席者：＜行財政改革推進局＞ 佐々木局長、大藤次長、石丸主幹、坂口主幹、森課長補佐

＜財務部＞ 橋口部長、吉田次長兼財政課長、八木次長兼資産経営課長、白川資産経営課主幹、

細川財政課財政係長、山邊財政課係長、大山資産経営課主査

■会次第

●局長挨拶

●議事

- (1) 第6次佐世保市行財政改革推進計画（後期プラン）の進捗状況について
- (2) 業務改善運動の審査要領について
- (3) 佐世保市公共施設適正配置・保全実施計画（第1期）の策定について
- (4) 受益者負担適正化指針に基づく使用料・手数料の見直しについて

R1. 7. 26 行財政改革推進会議（議事要旨）

（１）第 6 次佐世保市行財政改革推進計画（後期プラン）の進捗状況について

質疑・意見等	応答
<p>○前回の会議で、普通会計ベースで職員数を令和 3 年度までに 1,930 人以下にするという目標達成に向け、スピード感をもって改革を進めてほしい旨の意見を述べたが、今日の説明でもあまり具体的なものが示されていない。内部の事情はあるとしても、市民としては確実にこの計画が進捗していくということが知りたいと思う。</p> <p>○もう少し具体的な道筋、方向性を示していただけませんか。</p>	<p>◆内部事情がどうあれ、市民に対して行財政改革の具体的内容、目標達成までの道筋等、着実に推進していくことを示さなければならぬ。市民の利益が優先されるべきで、市民サービスに不都合が生じることがあってはならず、着実に実行に移していきたいと考えている。</p> <p>◆スケジュールも含めてどう進めていくか調整しているところである。そう時間を取ることもないという認識は持っている。</p>
<p>○トップランナー方式について、職員数と基準財政需要額の影響額との関係性がわかりにくい。</p> <p>○何もしなければ交付税が減っていくということであれば影響は大きいので、検討を進めていただきたい。</p>	<p>◆職員数については、トップランナー方式 16 業務について現時点で本市が直営で対応している職員数を示している。基準財政需要額の影響額は、直営で実施するものとして算定していた交付税を、委託等により歳出が効率化するものとして算定した場合の影響額を示している。人数を減らせば影響額をカバーできるという直接的な関係はないが、この影響額を踏まえて対応する必要があるということである。</p> <p>◆本市で対応できていない業務もあるので、他都市の対応状況なども参考に、業務改善・改革に取り組んでいきたい。</p>
<p>○職員が市の財政状況等をどれだけ把握できているのか。研修などの場はあるのか。全職員の理解が進むような工夫が必要ではないか。</p>	<p>◆毎年度 4 月に行う部長・課長クラスへの行政経営説明会、10 月頃に行う予算編成説明会などの場で説明を行っている。</p>

質疑・意見等	応答
○民間委託で全てが解決できるわけでもない。職員がノウハウを吸収して効率化が図られるというのがベストと感じるが、難しいのか。	◆民間委託の際の考え方としては、サービスの維持・向上が見込まれること、コスト削減が見込まれること、地域経済の活性化につながることで、業務改善に資することなど、様々な視点を持って、複合的に考えていく必要があると考えている。
○職員手当等については国に準じているとのことだが、地域ベースで考えるという視点はないのか。	◆本市においては、人材を確保するための他都市とのバランスなども考慮し、人事院勧告に基づき国家公務員に準拠するという基本方針をとっている。

(2) 業務改善運動の審査要領について

質疑・意見等	応答
○推進会議ではどういう工程で進めるのか。	◆9月末に募集を締め切った後、10月頃に資料をお送りする。点数をつけて上位3件を選んでいただいた後、12月頃に開催予定の推進会議において補足説明等を行い、最上位1件を選んでいただく流れで進めたい。
○良い取組みを庁内全体にフィードバックしていく必要がある。	◆集計したものを、庁内のグループウェアに掲載し、全庁的に取り組めるようなもの等について共有できるようにしている。
○将来の発展形をどう考えているのか。	◆例えば年度ごとにテーマを絞って取り組むなど、マンネリ化しないよう、毎回何らかの見直しをしてモチベーションを高める必要があると考えている。状況を見ながら進めていきたい。

質疑・意見等	応答
<p>○必ず職員は1人1件提出するという事なのか。</p> <p>○全職員が考えることが重要であるが、自発的な取り組みでは、あまり意識が浸透しないのではないかと。</p>	<p>◆義務ではなく、1人1件という目標を掲げて、自発的な取り組みを促している。</p> <p>◆各部局の職員数に対する提出案件の割合などを庁内で公表し、競争意識を持たせ、積極的に取り組んでいるところはしっかり評価するような姿勢で進めていきたい。</p>

(3) 佐世保市公共施設適正配置・保全実施計画（第1期）の策定について

質疑・意見等	応答
なし	-

(4) 受益者負担適正化指針に基づく使用料・手数料の見直しについて

質疑・意見等	応答
<p>○今後の課題として、受益者負担の基本的な考え方が、本当に適正かどうかについては、見直していく必要があると思う。他市では市役所や市民病院を使っても最低いくらかの駐車料金を支払うところもある。色々な議論もあると思うが、幅広い視点で考えていく必要があるのではないかと。</p>	<p>◆公有施設の有効活用という視点もあわせて、今後も引き続き検討していく必要があるものと考えている。</p>